

会 議 録

会 議 の 名 称	第 26 回登米市都市計画審議会
開 催 日 時	令和 2 年 8 月 31 日 (月) 午前 10 時開会 午前 11 時 40 分閉会
開 催 場 所	中田農村環境改善センター 1 階 多目的ホール
議長 (会長) の氏名	遊佐 正克
出席者 (委員) の氏名	迫町域から推薦 遊佐正克 登米町域から推薦 武藏寛亨 中田町域から推薦 猪又実 豊里町域から推薦 佐々木豊 米山町域から推薦 寺島洋子 登米市産業振興会 理事 二階堂玲子 登米市農業委員会 会長 高橋清範 登米市議会産業建設常任委員会 委員長 氏家英人 宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所長 吉田信幸 宮城県東部土木事務所 登米地域事務所長 本郷雅俊 以上 10 名
欠席者 (委員) の氏名	みやぎ登米農業協同組合 代表理事専務 佐々木修 宮城県佐沼警察署 署長 天野英克 宮城県登米警察署 署長 森脇崇 以上 3 名
傍 聴 人 の 氏 名	—
事務局職員職氏名	建設部 部長 千葉清 次長 菅原和夫 住宅都市整備課 課長 千葉伸一 都市政策専門監 三浦訓徳 係長 沼倉貴宏 技術主査 藤原健司 主事 佐藤亜耶
議 題	登米市立地適正化計画について (報告)
会 議 結 果	上記議題の事項は承認されました。
会 議 経 過	別添のとおり

会 議 資 料	資料1 立地適正化計画（骨子案） 資料2 立地適正化計画策定スケジュール
発 言 者	発 言
事務局	<p>本日は、お忙しいところ、ご参会をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>会議に先立ちまして、お手元の資料の確認をお願いします。</p> <p>本日の資料は、事前配布しております「会議次第」、「資料1」、「資料2」の3点となります。資料の不足等ございませんでしょうか？</p> <p style="text-align: center;">【 不足資料なしを確認 】</p> <p>定刻となりましたので、只今より「第26回登米市都市計画審議会」を開会いたします。</p> <p>本日の出席委員数については、委員総数13名のうち、過半数の7名を超えておりますので、「登米市都市計画審議会条例」第5条2項の規定により、会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>まず始めに、委員の皆さまへ登米市長より委嘱状交付を行います。</p> <p>委員の任期につきましては、条例第2条第3項の規定により、令和4年3月31日までとなります。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策のため、熊谷盛廣市長が委員皆さまのところに伺いまして、委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>事務局から、次第の裏面にごございます「登米市都市計画審議会委員名簿」により、お名前をご紹介させていただきますので、その場にご起立の上、受領いただきますようお願いいたします。</p>
市 長	<p style="text-align: center;">【 委嘱状交付 】</p>
事務局	<p>次に、開会にあたりまして、熊谷市長より挨拶を申し上げます。</p>
市 長	<p style="text-align: center;">【 市長挨拶 】</p>
事務局	<p>続きまして、登米市都市計画審議会委員の皆さまを、ご紹介させていただきます。</p>

	<p>【 委員紹介 】</p> <p>続きまして、事務局職員を紹介します。</p> <p>【 事務局職員紹介 】</p> <p>それでは、次に「審議会条例」第4条第1項に基づき、会長の選出をお願いいたします。</p> <p>熊谷市長を仮議長としまして、選考をお願いいたします。</p>
市 長	<p>それでは、暫時の間、仮議長となりまして、会長を選出いたします。選出の方法について、ご意見があれば、お願いいたします。</p>
委 員	<p>以前も会長をされていた遊佐さんをお願いできないでしょうか？</p>
市 長	<p>只今、遊佐正克委員の推薦がありました。</p> <p>皆さまからご意見があればお願いいたします。</p>
委 員	<p>【 異議なしの声 】</p>
市 長	<p>異議なしの声がありました。</p> <p>それでは、会長は、遊佐正克委員に決定いたしました。</p> <p>会長が決まりましたので、仮議長の座を降りさせていただきます。ご協力、ありがとうございます。</p>
事務局	<p>それでは早速ですが、遊佐会長から一言、ご挨拶をお願いいたします。</p>
会 長	<p>【 会長の挨拶 】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>ここで、熊谷市長につきましては、別件の公務があるため、退席をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>続きまして、「審議会条例」第4条第3項に基づきまして、会長から職務代理者の指名をお願いします。併せて、議事録署名人、2名の指名をお願いします。</p>

会 長	<p>それでは、職務代理者に武藏寛亨委員を指名します。</p> <p>議事録署名人には、二階堂玲子委員、本郷雅俊委員を指名します。</p>
事務局	<p>本日の会議の公開・非公開についての報告ですが、登米市審議会等の会議の公開に関する指針第3条の規定により、本日の審議案件は、非公開議案に該当しませんので、傍聴者5人を限度といたしまして、公開で行うこととなります。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>「審議会条例」第5条第1項に基づき、会長が議長となる旨、定められておりますので、遊佐会長が議長となり議事を進めていただきます。</p> <p>遊佐会長、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>「(1) 立地適正化計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明 ※資料1、資料2】</p>
会 長	<p>説明が終わりました。</p> <p>委員の皆様から質問があればお受けしますので、挙手の上ご発言願います。</p> <p>では、自己紹介をしながら高橋委員から一人ずつ発言をお願いいたします。</p>
委 員	<p>(自己紹介)</p> <p>今時点で計画策定に何か支障になることはないのか。例えば、アフターコロナ・ウィズコロナに対してどのように向き合うのか。計画立案の中で、そういう場合の懸念されるリスクはあるのか。あるのであれば、大まかに教えてほしい。</p>
事務局	<p>計画策定につきまして、策定委員会、推進協議会、都市計画審議会等、各種会議を予定しています。また、地域住民懇談会、説明会も予定しておりますので、コロナ対策につきましては、今回と同じように十分な措置を取りながら計画期間内に策定できるよう進めたいと考えています。</p>
委 員	<p>(自己紹介)</p>

事務局説明のとおり、人口減少、少子高齢化、登米市のまちづくりは待ったなしの状況である。平成 17 年 4 月に合併後 16 年半経った登米市に何一つシンボルとなる物がない。一体何をしてきたのかこれまで。いよいよ何とかしなければならない姿勢ができたのかと思う。立地適正化計画とは国の考え方に基づいたもので、人口が減っていくのだから、インフラが充実しているまちなかに居住誘導するような計画を立てたところには、社会資本整備総合交付金が国から入る。そのお金を使って再整備をしてほしいという考え方で、そのために国内の多くに自治体が取り組んでいる状況である。

県内では先行して大崎市が策定し、図書館ができた。

中心拠点を作るのはもちろんだが、大事なのは地域の拠点をどうやって作っていくかということに合わせてやらなければならない。

豊里町の取り組みとして、総合支所、公民館、軽運動場、こども園等集中させ、そこに行けば、災害時になんとかなる、中心市街地までバス一本で行けるという地域拠点の整備。次は米山地域をモデルとしたいと思っている。道の駅を中心に老朽化した公共施設を取り壊し、将来の地域人口規模に合った小学校の再編を含めた中で、こども園の整備をし、そこへ行けば子どもの声も聞こえるし、お年寄りのいる施設もあるという地域拠点を作ることが大事だと考えている。

8 月 25 日の全員協議会で、中心拠点の施設再編についての説明がされた。一つは、市民病院を迫庁舎の駐車場のある場所へ、規模縮小したうえで新築移転する。二つ目は迫体育館や公民館、保健センター等を整理して新たな図書館を造る。三つ目は、今の豊里のように総合支所公民館軽運動場を兼ね備えた市民の健康づくりの拠点を造る。四つ目、空施設となった登米市民病院を改修し、分庁方式をやめ本庁舎とする。という話が唐突に出てきた。こういったことも想定しながら進めていくものだと思うが、立地適正化計画を策定する来年の 9 月まで、策定していくというように認められれば、可能になる。合併特例債の活用期限も迫っている。

忘れていただきたいのは地域拠点をしっかり示していただきたい。

会 長

今のお話は、8 月 26 日の朝日新聞に記事が載っておりますのでご覧になってください。

委 員

(自己紹介)

中心部があってさらに拠点があり、そこからネットワーク化ということですが、地域の小さな拠点を計画基幹に置くのは中々難しいことは実生活していて改めて痛感している。地域説明会をされる中でいろいろな意見が出てくると思うが、声を反映しながら、機能、生活の足をいかに維持するかの論点が深まっていけばいいと思う。高齢化が進み、足となるとバスということになると思うが、自分の住んでいる唐桑地域ではバス停までも遠く、坂道なども多いため大変である。早く自動運転技術が開発され、自宅に無人タクシーが来る時代を待ち望んでいる。

一点だけ、説明の際に令和 27 年を 30 年後と説明している部分があるが、地域で説明される際には、令和 27 年というのと 25 年後というイメージ持たれると思うので、そちらの方がいいと思う。

委員

(自己紹介)

社人研の人口推計の中で、25 年後には合併した当時の人口の約半分まで減少してしまうという推計があったが、そこまで減ってしまうと色々なことを維持していくのは非常に困難になると思っている。早く立地適正化計画が策定され、コンパクトシティづくりができるといいと感じている。

私の方で社会資本の整備を担っているところだが、近年雨が激甚化し頻発化しており、自然災害の発生のリスクが少ないところに集約化していただけたらいいと思う。社会資本の長寿命化ということでやっているが、すべての施設を長寿命化というのは難しくなってくる時代がくると思うので、施設の取捨選択しながら、お金を掛けるところは掛け、掛けないところは少なくしていかないと、少子高齢化時代には対応していけない。災害リスクの少ないところへ立地できるよう計画ができればいいと思う。

委員

(自己紹介)

現実的な高齢化社会に対応ということで、先にこのような取り組みをしているヨーロッパの地方都市の中で、少子化対策などによる都市づくりをしているのをいくつか見たことがある。そんなイメージで作られるのかと想像していた。子供たちが将来希望を持って育つことが出来るような街づくりをしていただければいいと思う。

資料を見ていた中で気になったのは財政。登米市は財政が厳しいという話を聞いている。財務的にどういった支援が国からあるのか、お金が掛かる部分なので、この計画の中でよく考えられているのか。

<p>委員</p>	<p>市の資料を見る限りでは、産業がある程度しっかりし、誘致した工場も来ている。これから地域で意見交換をされるとのことなので、地域住民の方々が希望を持って取り組めるような内容になればいいと思う。</p> <p>(自己紹介)</p> <p>これから町をコンパクトにするというのは、財源もなく、人口も少なくなっていくので良い事だと思うが、中心部以外に住んでいる人達のことにもよく考え、交通の便なども検討していただかないと住民も納得しないと思う。より良い市にしていけたらいいと思っているのでよろしくお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(自己紹介)</p> <p>地域でよく話題にあがるのは高齢者の移動手段。以前市からデマンド交通の話聞いた際、豊里ではデマンド交通は難しいだろうということだった。豊里市民病院の患者送迎バスは一般の方も無料で乗せている。欠点としては、バスは停留所が決まっている。デマンドは玄関から市内どこでも行けるが、一回あたり 300 円程度の料金がかかる。もう少し料金を抑え、市内全体へ広げられればいいのでは。地区説明会をする上でも出てくるのは高齢者の移動手段のため、計画に盛り込んでもらえるとありがたい。市内でもデマンド交通を採用する推進協議会が増えていると聞く。個人負担の料金などもう少し工夫すればいいと思う。住民説明会でもこのあたりの質問が出た際に説明できれば賛成される方も増えると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>(自己紹介)</p> <p>生活弱者の方々のことを考えると、同じ敷地内で暮らせるのがいいと思う。コンパクトシティ・プラス・ネットワークのネットワークの部分、介護施設を中心としたもので作れないかと自分なりに考えている。コンパクトシティは、何もしなくてもなるかもしれないが、有効に活用できるまちになるかはわからない。誘導する計画が必要で、それがしっかりしたものでないといけないし、ワクワクするようなまちであってほしいと思う。</p> <p>実感として、高齢の母親とその息子という母子家庭が最近増えている。人口統計で見てもお年寄り是不変わるが、働く世代が減っていく。これからの計画の中では、お年寄りがどこに住んでいてどういう生活を送っているか、ほぼ歩いて行ける距離での生活になると思う。今住んでい</p>

<p>委員</p>	<p>るところを離れたくない人もいるので中心部へ集めるというのは難しいと思うが、ネットワークはしっかり整えてもらい、商業・医療・老人福祉施設などや働ける場所というのを拠点の中に収められるよう誘導優遇策を考えてもらいたい。</p> <p>(自己紹介)</p> <p>その他としてお聞きしたい。迫川は長沼ダムなど遊水地があるので先日の大雨でも大丈夫だったと見受けられるが、最近ゲリラ豪雨などがあり、北上川の水位がかなり上がってくることもある。米谷近辺では川底を深く掘り水位を下げていと聞いているが、北上川でそういった対策が講じられているのか、分かれば教えてほしい。</p> <p>もう一つ、登米市内で新型コロナに感染したかPCR検査ができる場所はあるのか。あれば教えてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>PCR検査については公的検査のみです。登米市には市民病院に発熱外来があるので、熱があった場合等については事前連絡のうえ診察を受けていただき、PCR検査が必要になれば保健所に連絡のうえ検査を受ける流れです。発熱外来があるので、先ずは窓口にご相談してください。</p> <p>北上川では登米町日根牛地区で、堤防を嵩上げて堤外部分にあった住居を背後に移転新築して、河川の堤防強化と合わせた総合的な整備を実施しています。それ以外に計画しているところは、東和町嵯峨立地区で堤防整備の予定があり地域住民と国で協議を進めている状況であります。更に、今年度は米谷地区で築堤工事があり、危険な箇所から整備を進めているところです。</p> <p>立地適正化計画についてですが、少子高齢化が進んでおり、人口減少による人口密度の低下が進み、医療や福祉、商業サービスなどの受けられていたものが、人口密度の低下によりそれらの事業が立ち行かなくなってしまうよう、国でもある程度の人口密度を維持し、生活サービスが衰退しないような取組みをしようというものです。</p> <p>みなさんから中心市街地以外の地域まちづくりをどうするかという質問があったが、地域拠点については地域の特色を生かした地域に合った施策の展開を考えていきたい。</p> <p>立地適正化計画を包含する登米市都市計画マスタープランでは、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの基本的な考え方を基に中心拠点と地域拠点をそれぞれ結ぶ都市形成を目指しております。中心拠点は立地適正化計画でまちづくりを進め、地域拠点は地域に合ったやり方で進</p>

	<p>める考えであります。</p> <p>財政面について、施設を整備する段階で必ず予算の話になりますが、その予算を計上したことで財政が立ち行かなくなることはあってはならないので、施設整備をする際も万全を期して計画を立てなければならない。</p> <p>一方で旧町から多くの施設を引き継ぎ、類似施設も多くあり、それらを集約することで、今後の維持費を節減する効果もあります。登米市の財政健全化が大事であるため、それを踏まえながら計画を進めて参りたい。</p> <p>交通面について、中心拠点と地域拠点を結ぶネットワークを進めていかなければいけないが、今年度からデマンド交通の実証運行をしています。高齢化が進めば車の運転ができなくなる時期は必ず来るので、是非デマンド交通を進めて参りたい。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。都市計画マスタープランはあるがなかなか具体化しないところがあり、立地適正化計画をもってマスタープランを前面に押し出す、具体化するという認識で捉えています。現在、県内で策定しているのは大崎市だけなので、登米市も議会と一緒に立地適正化計画のスムーズな策定をお願いします。</p> <p>その他質問はありませんか。</p> <p>質問が無いようですので、本日の議事は以上となります。ここからは事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>補足としまして、立地適正化計画作成の全国の状況ですが、令和2年4月1日時点で、具体的な取り組みを行っている市町村は522の都市で、その中で326の都市で公表している。県内では仙台市、大崎市、登米市、栗原市、柴田町の5市町で取り組んでおり、大崎市のみで公表されています。</p> <p>以上で本日予定いたしました議事はすべてご審議いただきました。それでは、閉会にあたりまして、職務代理者の武蔵寛亨委員より、一言、ご挨拶をお願いいたします。</p>
委 員	<p>【 閉会の挨拶 】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>以上をもちまして、「第26回登米市都市計画審議会」を閉会いたします。 ありがとうございました。</p>
--	--

【閉会】